



新年度に向けて

センター長 矢田部裕介

熊本地震から4年目を迎えようとしており、当センターに寄せられる相談も時間の経過と共に変化しています。復興の歩みや形は人それぞれのため多様な立場から被災者に思いを寄せる支援者の存在が欠かせません。

平成31年1月末現在、仮設住宅入居者は2万人を切りました(1万9193人)。すでに半数以上の方が仮設住宅を退去されています。いまだ生活再建の見通しが立っていない方への支援もさることながら、退去者への目配りも必要な時期に入っているように思えます。被災者の心のケアは仮設住宅等の退去をもって、被災者支援体制から平時、精神保健医療体制での対応へと切り替わる傾向にあります。一方で、仮設退去を生活再建とみなすことはできたとしても、喪失体験や葛藤からの回復とみなすことはできません。むしろ、コミュニティの恩恵を受けられないまま、新たな環境変化ストレスにさらされることにより、メンタルヘルス危

機に陥る被災者も多いのではないかと想定されます。生活再建を果たした方への見守りは困難となり、特に目に見えない心の問題は見落とされてしまう懸念があります。被災者のメンタルヘルス課題に目を向け続ける仕組みが必要と感じています。新年度も職員一同、『こころの復興』に向けて取り組みで参ります。



熊本こころのケアセンター職員

こころからの健康に関する調査について

熊本地震で被災され、仮設住宅および災害公営住宅等にお住まいの18歳以上の方を対象に、『第三回 こころからの健康に関する調査』を実施します。この調査は被災された方々のこころの健康状態を把握し、必要な援助を行い、今後の支援体制や事業を検討する目的で実施をします。対象となる方には調査票が届きますので、ご協力をお願いします。

平成29年度に中長期派遣保健師として益城町で支援活動をしてこられた福岡県八女市役所の平松悦子保健師に現在の活動の様子についてお話を伺いました。



福岡県八女市役所 平松悦子 保健師



「実りある対話を目指して」

平成も今年4月で幕を閉じます。平成の30年間で、地震・集中豪雨・台風などの自然災害が頻発し激甚化しています。昨年の世相を表す漢字一文字も「災」でした。本来、自然は四季折々に美しいはずなのですが地球温暖化がすすみ、市民の生活・生命を始め安全や安心が脅かされてきました。益城町での中長期派遣の保健師活動では、被災者に寄り添う姿が大変重要で受動的な行動ではなく、必ず相手の反応を見ながら話をしてきました。現在、八女市に復職してからも市民の方と接する時間を大切に行動しています。市民の方にとって心から信頼でき、良い聞き手がいてこそ、安心して話すことができると思います。そのために、一人ひとりの心に寄り添い励ましながら相手の方の反応や言葉に耳を傾けていきたいと思えます。

国では激甚化する自然災害に備えるため国土強靱化基本計画を昨年改定しています。また、防災・減災に対する施策は拡充されています。被災された地域のことを忘れることなく常日頃から、きめ細やかな家庭訪問を実施すること、住民と接することで住民の方の心に寄り添う姿勢を身につけていきたいと思えます。

災害時の支援者の健康を考える研修会

平成31年2月7日に御船保健所主催で『災害時の支援者の健康を考える研修会』が開催されました。始めに御船保健所の剣所長より「産業医の立場から」と題して職員の健康管理の考え方について講話がありました。次に震災後から益城町役場職員のメンタルヘルス支援に携わってこられた国立病院機構災害医療センターの小早川医師から福島県での支援活動を踏まえた講話がありました。災害



後、行政の業務量は増大し、職員は日常業務に加えて慣れない災害復興業務をすることに。それが長期化することで心身の健康問題が発生してきています。

【提出期限】

平成31年4月19日(金)



調査票

Questionnaire form with multiple-choice questions and checkboxes regarding health and disaster recovery. Includes a table for selecting a respondent and a list of health-related options.

このことから当センター長の矢田部より「災害復興期の行政職員の現状や課題を乗り越えるためには支える自治体職員の健康管理体制や職場内での良好な人間関係がカギ」と強調し、気づきや声掛けのタイミングなどの助言がありました。



第二回

地域支え合いセンター 川柳コンテスト

大賞作品

狭かった それでも笑顔 仮住まい  
ピンポン ハイの返事 一安心  
脳トレを 孫に越されて 奮い立つ  
涙あり 笑いもありの 支え合い



御船町地域支え合いセンターの皆様 ご協力ありがとうございました。